JR東日本ニュース

２０２６ 年 ９ 月 １０ 日
東日本旅客鉄道株式会社

JR 新宿駅東口駅前広場から、アートプロジェクト始動！

○「世界一　乗降客が多い新宿駅」から「世界一　心動く新宿」を生み出すことを目的に、「Museum of Contemporary Tokyo-Shinjuku」というプロジェクトを開始します。
○新宿に集う人々の1日の記憶を収集し、そこから生まれる「生活の模様」を「Life Stripe」として、新宿のまちなかに掲出します。第一弾として、工事仮囲いをアートキャンバスとして活用し、JR 新宿駅東口駅前広場にて掲出を開始します。
○新宿グランドターミナルエリアマネジメント協議会は、駅・駅前広場・駅ビルを一体的に再編し、駅とまち、まちとまちを繋げ、新宿全体を活性化させる次世代ターミナルである「新宿グランドターミナル」の実現を目指しています。

※この取組みは、当社が参画する新宿グランドターミナルエリアマネジメント協議会が主催し、アーツカウンシル東京による「TOKYO CITY CANVAS 助成」を受けて実施します。

1. 概要

【掲出期間】　2026 年 9 月 16 日(水)～2027 年 9 月頃を予定
※工事の進捗や天候等により掲出期間を変更する場合がございます。

【実施場所】　JR 新宿駅東口駅前広場　工事仮囲い

JR 新宿駅東口駅前広場　工事仮囲い

2. 掲出内容

Life Stripe は、2004 年より SPREAD が発表しているアート作品です。睡眠・食事・くつろぎ・仕事といった 1 日の行動を、リサーチに基づいて選定した 21 のカラーに置き換え、24 時間の時間軸に沿って記録することから生まれる「生活の模様」を制作します。

今回は、新宿で働く・住む・訪れるひとを中心にリサーチを行いました。

■掲出イメージ

■SPREAD について

山田春奈と小林弘和によるクリエイティブ・ユニット。長い時間軸で環境を捉えるランドスケープデザインの思考と鮮烈な印象を視覚に伝えるグラフィックデザインの手法を融合させ、あらゆる記憶を取り込み「SPREAD=広げる」クリエイティブを行う。「国立新美術館」10 周年記念ビジュアル、工場見学イベント「燕三条 工場の祭典」、JR 上野駅リニューアル「UENO CULTURE&CREATIVITY HUB」等を手掛けている。Red Dot Design Award グランプリ、Dezeen Awards Graphic design of the year など受賞歴多数。

■「新宿グランドターミナル」について

2018 年3月に東京都・新宿区から公表された「新宿の拠点再整備方針～新宿グランドターミナルの一体的な再編～」に基づき、駅・駅前広場・駅ビルを一体的に再編し、駅とまち、まちとまちを繋げ、新宿全体を活性化させる次世代ターミナルである「新宿グランドターミナル」の実現を目指しています。

「新宿の拠点再整備方針～新宿グランドターミナルの一体的な再編～」（東京都・新宿区）
https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/seibihosin/shinjuku.html

■TOKYO CITY CANVAS について

「TOKYO CITY CANVAS」は、まちなかにアートの景色を広げていく東京都の新たな文化プロジェクトです。工事現場の仮囲いなどをキャンバスに見立て、都市の余白、隠された可能性にアーティストたちが創造性を注ぎ込み、無機質だった街の一角を華やかに彩ります。変化し続ける都市「東京」の躍動をアートで表現し、新しい視点で東京を感じるきっかけとなることを目指します。

TOKYO CITY CANVAS

ARTS COUNCIL TOKYO

助成：アーツカウンシル東京【TOKYO CITY CANVAS 助成】

※掲載している写真・画像はすべてイメージです。実際とは異なる場合があります。
※2026 年 9 月現在の情報です。本プロジェクトの内容は、予告なく変更または中止となる場合があります。